

能登 加賀 櫻井基太夫家の消息

★=金沢武佐 広濟寺過去帳記載
黒字=明治3年由緒一類附帳

赤字=平成16年11月5日新たに確認
緑色戒名=房記家塗井で法要(塔婆)

紫色文字=加越能資料から
紺色文字=加賀藩史料

■(水色塗りつぶし)=錠二「思い出の数々」
■(黄色塗りつぶし)=房記家記録

		別名	没年・動向				備考	
初代	監物		天正 5年	1577			能登 氣多大社大宮司家	
2代	監物丞		慶長 4年	1599				
3代	監物丞		寛永16年	1639				
4代	大監物		正徳 3年	1713				
5代	甚兵衛		正徳 5年	1715			大監物の三男	
★	基太夫の子		享保19年	1734	9月		露百	
			基太夫	加賀藩士と なる	1743	寛保3・2・18	御馬乗竹村仁左衛門弟子 於江戸被召出十人扶持	加越能史料 御役替 御加増 新知家督 役掛等記 録 第七(元文五至延享七)
					1759	宝暦・9・4・10	金沢に大火災あり。焼失するもの一 万五百余戸	馬場一番丁御馬乗御歩櫻井由太夫(6代 基太 夫?)・(焼け)のこり申候(加賀藩資料七)
★	6代基太夫の妻	早世したので弘次郎を養子 に迎えたのであろうか?	基太夫		1767	明和4・8・7	文政13年(1830)古地図(藤本文庫)	加越能史料 御役替 御加増 新知家督 役掛等記 録 第十(宝暦十四至天明十)
			安永3年	1774	8月27日		五人扶持御加増 都合十五人扶持 御歩*御馬乗 草邦受夢	加越能史料 御役替 御加増 新知家督 役掛等記 録 第十二(安永九至天明五)
			弘助	御殿方 基太夫伴	1782	天明2・12・28	十人扶持被下 御殿方被召出	加越能史料 御役替 御加増 新知家督 役掛等記 録 第十三(天明六至寛政二)
			基太夫		1783	天明3	御馬乗 十五人扶持	加越能史料 天明三年土帳下
6代	基太夫	金沢 没	天明 8年	1788	9月10日			
7代	弘次郎	高橋宅衛門の次男 金沢 没	弘次郎	基太夫 養子	1789	天明9・7・10 (寛政元年)	跡目十五人扶持 御殿方	加越能史料 御役替 御加増 新知家督 役掛等記 録 第十四(寛政三至十一)
			寛政 5年	1793	7月31日			
★	大吉	大吉と基太夫は兄弟か	大吉	弘次郎伴	1796	寛政8・12・4	跡目十人扶持被下 御殿方被召出	加越能史料 御役替 御加増 新知家督 役掛等記 録 第十四(寛政三至十一)
			8代基太夫	弘次郎伴	1796	寛政8・12・	跡目十人扶持領 御馬奉行支配御馬乗 智幼	
			寛政 9年	1797	2月26日			
★	基太夫の姉	金沢 没	8代基太夫		1830	文政13・8・26	御馬方御用扱い10年入情 新知100石拝領	
			享和元年	1801	9月5日		秋岳智円	
★	8代基太夫の妻	青山将寛家来侍 金沢 没	文政 9年	1826	12月		妙観察智清徳院智光貞次大姉	H8.1.12百五十回忌
		熊野故兵右衛門の娘						
			弘次郎伴	8代基太夫	1837	天保8・6・8	~弘化3・3・1 御馬乗口	加賀藩史料(十五)天保10・7・4[学校方雑纂] 経武館稽古割に基太夫の名あり
★	喜三郎	基太郎先妻の長子 金沢 没	基太郎	基太夫の伴	1838	文政11・8・	御馬方御用見習	
			弘化 4年	1847	8月 5日	3歳	大圓鏡智為寛了院釈本明童子	H8.8.4百五十回忌 天保15年(1844)生
			基太郎		1848		豊之丞殿御馬術御稽古方御用・御馬奉行支配	
★	基太郎の先妻	金沢 没	嘉永 3年	1850	11月27日	?	大圓鏡智為教誓院明貞真尼	H11.11.26百五十回忌
			後妻 八百		1851		縁組嫁娶	新番小組 喜多岡如兵の娘
8代	★ 基太夫本	弘次郎伴 金沢 没	嘉永 6年	1853	9月 2日	69歳	大圓鏡智為釋院釈家養證果居士	H14.9.1百五十回忌
			基太郎		1854	嘉永6・12・16	亡父基太夫跡目遺知100石	
			先之丞	基太郎の嫡	1855	安政2・	御馬下乗手伝・同年乗り形御覽	
	竹吉	夭折 金沢 没	安政 4年	1856	10月27日			安政3年(1855)8月生
★	基太郎の母	(先妻の母か) 金沢 没	文久 2年	1862	3月16日		喚聲院貞圓尼	
★	大次郎	夭折 金沢 没	文久 2年	1862	7月12日		信誠	文久2年(1862)3月10日生
9代	★ 基太郎本	基太夫伴 金沢 没	文久 3年	1863	3月 7日	48歳	大圓鏡智為喚聲院釈速住本久居士	S38.3 百回忌
			先之丞		1863	文久3・7・	亡父基太郎跡目 五人扶持 御馬奉行	
	梅子	夭折 金沢 没	文久 3年	1863	8月		数日で没	文久3年(1863)8月16日生
★	先之丞の水子	金沢 没	明治9年	1876	6月11日		家業不心、行状を伏せ届出怠慢により石放	
★	小太郎(先之丞)の男子	金沢 没	明治10年	1877	7月17日	当年	釈尼妙音一誠真 楽心	水子に4字戒名は奇妙 広濟寺が書写す時先之 丞の妻と誤記では?
★	先八(先之丞)の妻	金沢 没	明治20年	1887	11月18日		誠真 → 釈尼妙音	
★	後妻・八百 喜多岡如兵衛の娘	東京 没	明治28年	1895	12月 1日	67歳	大圓鏡智為本覺院釈妙久大姉	H6.12.1百回忌 房記・省三・錠二の生母
10代	★ 先之丞	小太郎 基太郎先妻第二 金沢 没	明治30年	1897	1月13日	52歳	大圓鏡智為本淨院釈唯信信士	H8.1.12百回忌 弘化2年(1854)生 金沢市裏金屋町
11代	房記	房次郎・重久 東京 没	明治45年	1921	4月	基太郎五十回忌に金沢武佐廣濟寺から遺骨を移し八百と合葬する		
末弟初代	錠二	錠五郎 東京 没	昭和 3年	1928	12月12日		寛光院篤翁房記居士	嘉永 5年8月15日生
次弟初代	省三	松之助 東京 没	昭和14年	1939	1月28日			安政5年8月18日生
			昭和19年	1944	12月 13日			安政元年8月29日生

ピンク色=編者のコメント